



やっと紅葉が始まってきました。いちょうが黄色く染まり、ところどころの地面を美しく色づけています。10月23日の修学旅行では、紅葉を見に来た外国の人や日本の人であふれていましたが、奈良も京都も緑一色でした。紅葉はそのうち見るのできるのでのんびり待てばいいのですが、同じ温暖化の影響でも、この時期とは思えない豪雨が各地で起きるのは大きな問題です。もっと真剣に温暖化のことを考えなければならない時でしょう。

自然学校（11月4～8日）

今年は、初めて西はりま天文台に自然学校に行ってきました。少し遠くて不便なこともありましたが、何と言っても自然豊かで星がきれいなのは魅力です。本当は、空にはこんなに星が輝いているんだということを体感したことでしょう。完成当時、国内最大かつ一般公開用としては世界最大の反射式天体望遠鏡「なゆた」を見ることができたのもいい経験でした。

自然学校の1番の目的は、自律にあると考えます。家を離れ1人で生活するという自立だけでなく、心もしっかりとした個人として生活することができるかどうか。おうちに帰った後にそれがわかりますね。成長が見られましたか？



虐待（ぎゃくたい）

学校は、子供が家庭で虐待を受けたことがわかった場合には、市に報告することが義務付けられています。子供を守るためのきまりです。虐待とは、子供をたたく、なぐる、ける、物を投げるという身体的な暴力だけでなく、暴言（ひどい言葉を使う、きつく言う）も含まれます。また、直接子供にしたことではなくても、子供のいるところで両親や大人同士が激しく言い合ったり、喧嘩したりするところを見せてしまうことも虐待です。安心や安全がおびやかされることは、ほぼ該当すると思っています。

虐待を受けた子供は、心が傷つくことはもちろん、脳が萎縮してしまって、一生元に戻らないという研究結果もあります。

保護者が大変でしんどい時もありますが、子供が安心して過ごせるよう、がんばってうちの中は明るく楽しくしましょう。

修学旅行（10月23・24日）

姫路を出発するときは小雨でしたが、後は過ごしやすい天気です。予定通りに進みました。観光客や修学旅行生はたくさんいましたが、大仏殿では柱の穴のくぐり抜けも希望者全員通れました。2日目の太秦映画村も開村前から並んでいたもので、それぞれのアトラクションもスムーズに入れました。今年は工事の関係で、チケットがフリーパスに格上げされたので、お化け屋敷に4回入った児童もいました。最初は怖がっていましたが数回入ると笑顔で1周。今年の6



年生は、2日間とも病気やケガがほとんどなく、みんなゆっくり楽しく過ごせました。